

ちばZOO

どうぶつこえんニュース

2013
秋号
No.87



「今回の表紙」

風太10歳誕生日記念行事 -Celebrate Futa's 10th Birthday-

千葉市動物公園で人気のレッサーパンダの風太は平成16年に来園し、以来多くの方々に愛されてきました。平成17年に凛々しい立ち姿が有名になり、当園一番の人気動物として活躍してきました。今年7月5日、10歳を迎えるのを機に、「風太10歳誕生の記念行事～ Celebrate Futa's 10th Birthday～」を開催しました。

7月6日には「記念式典」を、7月7日には動物科学館1F レクチャールームにて、飼育担当者による「講演会」を、動物科学館2F 特別展示室では10月27日(日)まで風太の10年を振り返る「写真展」を開催しています。

風太が生まれた日本平動物園時代の写真や「立ち姿」10景など50点を展示しています。

また、園外では以下の日程で「風太巡回パネル展」を開催していますので、是非ご覧ください。

- ・そごう千葉店地階
「そごうギャラリー」 9月17日(火)～23日(月)
 - ・美浜区役所1階 10月 8日(火)～26日(土)
 - ・千城台コミュニティセンター 12月 3日(火)～15日(日)
- (管理係 春日一郎)

市民の日に
ちなみ
10/18・19・20
3日間
入園無料

千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

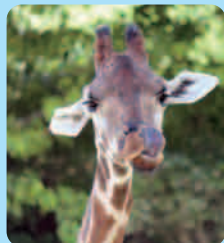


Director's Eye

かん い まい おう
『敢 為 邁 往』

間もなく秋分。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、とにかく今年の夏の猛暑、動物たちにも厳しいものであったようです。

当園の動物の大半は野生動物。それぞれの故郷は南米であったりアフリカであったり、山の中であつたり、水辺であつたりとそれぞれで



アミメキリン

すが、気候風土のまったく異なるここ千葉市で生活するのですから、怖い外敵は居ないとは言え、慣れるまでは中々大変だと思います。

さて、最近、「生物多様性」とか「生態系」を守る必要性について、色々と話題になっています。動物の生息地では、草木、草食動物、肉食動物などの生物が食物連鎖のような捕食関係で構成されています。このうちの一部が欠けてしまえば、他の生

物の存続に大きく影響します。「弱肉強食」という言葉はイメージが良くありませんが、真理の一面を表しています。こうして自然界のバランスがとれていることを科学的に



ハシビロコウ

も情操的にも理解していくことが大切であり、動物園が、その一助を担っていく必要があります。

本物の「生きた」動物に直接、会って五感で体験できる動物園。そこは「生きとし生けるもの」を想う心を育むことのできる場であり「命」をテーマにした社会教育施設、「いのちの博物館」でなければなりません。

現在当園では、今後の再生計画を作成中ですが、施設設備のリニューアルは勿論、ソフト面の充実として、次代を担う子どもたちへの科学教育の振興と健全な情操心の育成は極めて重要なエッセンスです。

「敢為邁往」の心意気で邁進していきたいと思います。

(園長 朝生智明)

フォーカス



「敬老」



エサを食べるラムのミケ

「多年にわたり、社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」敬老の日。激動の時代を乗り越えられ、自らの手で人生を切り開きながら長年に渡り築き上げ、現在がある日本。「温故知新」で私たちも発展させながら未来へ繋げていかなければなりません。

健康に長生きするだけでも大変なことですが、人間の最長記録は、フランスで生まれた「ジャンヌ・カルマン」さんの、122年164日、世界一長寿な我が国の平均寿命は、男性が約80歳、女性が約86歳です。

さて、当園の動物たちはどうでしょう。天津動物園から寄贈されたタンチョウは、野生由来のため年齢は不明ですが、当園で26年間飼育しています。この他に、

ハゴロモヅルは23歳、ホオカザリヅルも21歳と高齢な個体が多いですが、私たちが日常「長寿」としているのは、「長く生きた」年数ではなく、その種類の中で、「特に長生き」している場合です。ジェフロイクモザル(平均寿命40歳)の46歳、ラム(平均寿命20歳)の推定23歳などが「長寿」と言えます。担当者は少しでも長生きしてもらうため、暑い日は室内で過ごさせ、横になることが多いので、床にワラを敷いたり、餌を細かく切って食べやすくするなど、日々工夫を重ねています。

健康管理を怠らない人的飼育下の動物の方が寿命が長いと言われていますが、キバタンと言うオウムの仲間が記録によると80歳、「アドワイチャ」という名前のアルダブラゾウガメは、1750年にセイシェル諸島で捕獲され、コルカタの動物園で2006年に死亡したとあるので、255歳まで生きたことになります。すごいですね。

(飼育課長 高木淳子)

『ドリームナイト・アット・ザ・ズー 2013』

ドリームナイト・アット・ザ・ズーは、障がいのある子どもたちとその家族を動物園に招待し、気兼ねなく楽しいひとときを過ごしてもらう国際的なイベントです。

当園では、8月26日(月)午後に淑徳大学やジブラルタ生命保険株式会社等の協力のもと、173組564名の方をお招きして実施しました。

当日は、特別企画として、動物や派生物のガイド、動物の食事タイムの見学やエサやり体験、小動物とのふれあいを行いました。

また、それ以外に、パネルシアターやバルーンアート、ジャグリング等、様々なイベントを楽しんでいただきました。

(調整係 神保尚史)



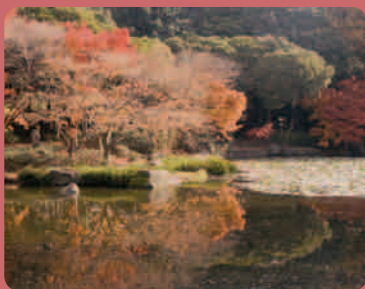
『イクメン! ベニイロフラミンゴの繁殖』

2013年7月19日、ベニイロフラミンゴのヒナが産まれました。フラミンゴの子育ては父親と母親が協力して行います。その連携プレーは人間が感心してしまうほど。卵を温めている時から、母親と父親は交代で卵を抱き、もう片方が餌を運んできます。ヒナが少し大きくなってよちよち動き出すようになると、両親は片時も離れずヒナの後をついていき、ヒナの近くにいる他のフラミンゴを威嚇してヒナを守ります(ヒナの方から近づいていくわけですから、他のフラミンゴにとってはいい迷惑かもしれませんが…)。特に育児に熱心なのが父親のフラミンゴで、その様子は見ていてとても微笑ましく、担当者の私は毎日惚れ惚れ見とれています。この連携プレーはいつまで見られるかわかりませんので、ご来園はお早めに!!

(調整係 石田郁貴)



「紅葉」



大池に映るヤマモミジ

四季のある日本では、春の桜と並んで秋の紅葉は見ごたえのあるものです。紅葉狩りを心待ちにしている方もいらっしゃるでしょう。しかし、私たちには楽しい紅葉も、植物たちにとっては、冬を生き抜くための準備の一つです。

葉は、温度が下がり日照時間が短くなると、エネルギーを作り出す以上に消費してしまいます。乾燥する冬に、葉の表面から多くの水分が失われます。そのため、秋が深まり朝晩の温度が低下する頃になると、植物は自ら葉を落とし冬に備えるのです。

落ちる前の葉の内部では、緑の色素(葉緑素)が分解されていきます。すると、もともとあった黄色の色素(カロテノイド)が見えるようになります。これが、イチョウなどが黄色に色づ

く仕組みです。モミジなどでは、緑の色素が分解される一方、赤い色素(アントシアニン)が作られて赤く色づきます。

紅葉の名所は多々ありますが、当園でもさまざまな紅葉がお楽しみいただけます。園内各所で動物と一緒に楽しめる赤や黄色のモミジやサクラ、駐車場や遊園地沿いの、既存林を活かした斜面も美しい眺めです。

とりわけ、お勧めしたいのが大池です。池の周囲のヤマモミジは、日の光を浴びて燃えるような紅に染まり、自然豊かな山中に来たのかと見まがう風景です。

11月下旬から12月上旬ころが見頃です。当園で秋のひと時を楽しんでみてはいかがでしょうか。(施設係 国岡美佳)



色づくアシカ舎前

ちばZOO フェス

今年も「ちばZOOフェスタ」が11月9日(土)
動物や動物園を題材として、さまざまな文化芸術活動をしている
多彩なイベントやグルメ屋台など

ギャラリー部門

写真や各種クラフト作品の個展ブースが中央広場に並びます。作品販売もあり、年に一回ここでしか手に入らない逸品も並び、当園の隠れた「オリジナルグッズ」となっています。



レッサーパンダの子どもの
名前を発表します！

研究発表

未来の科学者たちである、小中高校生を対象とした動物・環境をテーマとした研究発表をポスター発表形式で行います。飼育係の日頃の研究の成果も併せて発表します。



パフォーマンス

動物が登場する音楽の演奏など
されます。今年はスペシャルゲスト
江戸家小猫さんが初日の土曜日
ハシビロコウの鳴き真似に挑戦

アニマルコスプレ★コンテスト

2日目の日曜日は恒例となりました「アニマルコスプレ★コンテスト」が開催されます。「ネコミミからキグルミまで」を合い言葉に、自慢の動物コスチュームで参戦してください。

コンテスト当日アニマルコスプレ姿でご来園の方は、コンテスト参加に関係なく入園無料！



タ・2013

特集

・10日(日)の2日間開催されます。

みなさんの作品や成果を一堂に集めた「動物文化祭」です。

どもご用意しています。

部門



ンス部門

どの楽しいステージが展開
ストとして動物声帯模写の
日にやって来ます。なんと、
だそうです。

スト(当日エントリー方式)



企画イベント

★「動物たちに大接近」

飼育係が動物たちの間近まで案内してくれるイベントです。今年のラインナップはゾウ、キリン、カリフォルニアアシカ、ウマ、動物科学館、アナリカバイソン・トナカイの6ツアーとなる予定です。どのツアーになるのかは受付後の抽選でのお楽しみとなります。



★「アニマルフェイスペイント」

プロのフェイスペインターがカワイイ動物のイラストを頬に描いてくれます。サンプル画の中から好きな絵を選んで描いてもらえます。



企画イベントは、当日、中央広場の本部席にて受け付けます。

お願い：「フェイスペイント」は受付順に時間チケットを配布します。「大接近」がどのツアーになるかにより、参加時間が重複する可能性があります。双方の参加をご希望の場合は、「大接近」のツアー確定後に「フェイスペイント」へのエントリーをお願いします。

内容は都合により変更となる場合があります。



動物公園で活躍してくださっているボランティアさんに、飼育係が直撃インタビュー！第2回目はボランティア制度を導入した2007年

4月から6年にわたり活躍してくださっているベテラン、西田 しげ子(にしだ しげこ)さんです。

———よろしくお願いします。まず、ボランティア活動を始めたきっかけを教えてください。

「退職をきっかけに、次に何に打ち込もうかと探していました。そんな時、たまたま市政だよりで募集の記事を見たのをきっかけに、元々動物が好きだったということもあり、ボランティアに応募しました」

———主な活動内容を教えてください。

「毎月第2、第4日曜日に開催している鳥・しっぽ・角などのテーマを決めた定期的なガイド、園が主催するイベントのお手伝いや、お客様の写真撮影のお手伝い、来園者への道案内などです」

———お客様へ定期ガイドの魅力をPRしてください。

「動物単位ではなく、それぞれの身体の特徴や機能による多様性をお伝えすることを意図しています。実物の角や羽・卵に触れ五感を使った体験をしていただいています。」

———ボランティア活動を通して感じていることを教えてください。

「自分たちが疑問に思うことを調べてお客様へ知らせると、お客様の顔が輝きます。疑問をとくお手伝いができるということは、知らなかったことを知るきっかけに繋がります。とてもやりがいを感じています」

———最後に、紙面を読んで新規ボランティアになろうかなと思っている方へのPRをお願いします。

「動物、人、色々なことに興味や関心が広がります。笑顔に出会える場ですよ」



定期ガイドを行う西田さん

「動物ボランティア募集中！」

千葉市動物公園では、お客様への動物の解説や園内でのガイドをはじめ様々なイベントなどにお手伝いをいただく「動物ボランティア」を募集します。

応募期間 平成25年10月1日(火)～10月31日(木)(必着)

詳細は、市政だより、ホームページをご覧ください。

応募・問い合わせ先 管理課 電話 043-252-7566



来園者の声

Q1 動物科学館のマーモセットのガラスの内側に、ウロコ状の跡が残っていますが、定期的にお掃除しているのですか？

A1 各展示場のガラスの清掃について、今後一層、徹底していきます。

Q2 おさるさんが、石を投げてきます。全体的に網を張ればいいと思うのですが？

A2 チンパンジーは投げるが多かったので、網を張りました。隣のゴリラは投げませんので、張っていません。

Q3 ゴリラがあまり動かず元気がないようですが、具合が悪いんですか？

A3 具合が悪いわけではなく、ゴリラは食事のあとはあまり動きません。野生でもゴリラは食事の後は、休んだり寝ていたりして過ごしています。

Q4 洋式トイレを増やしてください。

A4 洋式トイレへの切り替えにつきましては、順次計画的に実施していきます。

Q5 マレーバクが好きです。マレーバクの白い線は個体によって違いがあるのでしょうか？

A5 マレーバクの白黒の模様は、どの個体でもほぼ同じだと思います。白黒の模様は夜暗いジャングルで身を守るため、どこからどこまでが1頭の動物なのか見づらくするためでは？

イベントカレンダー

●風太写真展(そごうギャラリー)

9月17日(火)～9月23日(月)
誕生から現在までの風太の写真紹介

●飼育係によるお楽しみDAY

9月21日(土) 13:30～14:15
いつもは見ることのない動物の骨格標本や、はく製を見ながら動物の秘密に迫ります

●動物愛護週間クラフト教室

9月21日(土)・22日(日)
10:00～15:00

●動物公園のアイドルを探せ!

～第1回「動物総選挙」～
9月22日(日)
園内の人気動物を選挙でランキング

●紙芝居会

9月29日(日) ①11:30～②13:30～
市民ボランティアの方々による動物にちなんだ紙芝居会

●飼育担当者のちょっといい話

10月6日(日) 13:10～13:30
飼育担当者による「ちょっといい話」や動物たちの楽しい出来事やエピソード等について説明(ケープペンギン)

●ZOOクイズラリー

10月19日(土)・
20日(日)
9:30～16:00



ZOOクイズラリー

●飼育係によるお楽しみDAY

10月19日(土) 13:30～14:15
バックヤードの見学や、間近での動物の観察(ゾウガメ)

●紙芝居会

10月27日(日)
①11:30～②13:30～
市民ボランティアの方々による動物にちなんだ紙芝居会

●飼育担当者のちょっといい話

11月3日(日) 13:10～13:30
獣医師が動物の体の不思議について解説

●ちばZOOフェスタ・2013

11月9日(土)・10日(日)
9:30～15:00
動物公園の文化祭

●飼育係によるお楽しみDAY

11月16日(土) 13:30～14:15
バックヤードの見学や、間近での動物の観察(アジアゾウ)

●秋の調べ

11月17日(日)
①11:30～
②13:30～
秋の音楽会



秋の調べ

●落ち葉カードづくり

11月23日(土)・24日(日)
①10:30～②13:30～
園内の紅葉で落ち葉カードづくり

●一日飼育体験

11月24日(日)
中学生以上を対象とした
一日飼育体験(要事前申込)



トナカイ

●飼育担当者のちょっといい話

12月1日(日) 13:10～13:30
飼育担当者による「ちょっといい話」や動物たちの楽しい出来事やエピソード等について説明(プレーリードッグ)

●飼育係によるお楽しみDAY

12月7日(土) 13:30～14:15
バックヤードの見学や、間近での動物の観察(トナカイ・アメリカバイソン)

●飼育係によるお楽しみDAY

12月21日(土) クリスマススペシャル

ちばZOO diary

6月1日 ヒツジの毛刈り

ヒツジの毛刈りの実演と紡毛教室等

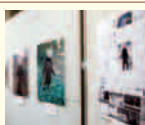
6月2日 一日飼育体験

6月9日 飼育担当者の「ちょっといい話」
(夜行性動物)

6月15日 飼育係によるお楽しみDAY
(サル比較会)

7月2日～ 風太写真展

10月27日 (動物科学館)
誕生から現在までの
風太の写真紹介



7月2日～14日 風太写真展(生涯学習センター)

7月6日 風太10歳記念式典

飼育係の思い出話、レッサーパンダ体操、
風太へ誕生日プレゼント、写真撮影会

7月7日 風太10歳記念講演

レッサーパンダの生態や飼育の現状と
課題について

7月7日 飼育担当者の「ちょっといい話」
(草原ゾーン)

7月20日 飼育係によるお楽しみDAY
(猛禽類、ハシビロコウ)

7月24・サマースクール

25・26日 小学1～6年生を
対象に動物の飼育
などを体験



7月28日 紙芝居会

8月3日 飼育係によるお楽しみDAY
(夕焼け動物園・テナガザル)

8月4日 飼育担当者の「ちょっといい話」
(アフリカハゲコウ)

8月10日 夏祭り

8月11日 動物講演会(ゴリラ)

恩賜上野動物園飼育展示課
木岡真一氏による講演

8月24日～9月1日 風太写真展(フレスポ稲毛)

8月26日 ドリームナイト・アット・ザ・ズー
障がいのある子どもたちとそのご家族
をご招待

こんにちは赤ちゃん

・フタユビナマケモノ 6月2日生まれ
・シセンレッサーパンダ 6月23日生まれ
・オオカンガルー 7月6日生まれ
・ベニイロフラミンゴ 7月19日生まれ
・カビバラ 8月10日生まれ



フタユビナマケモノ



カビバラ

安らかに…

・グレイビーシマウマ(シズカ)
1988年 2月14日(来園)～ 2013年7月 3日
・チリーフラミンゴ
1991年 7月22日(来園)～ 2013年7月13日
・ポト
2005年11月21日(来園)～ 2013年8月13日
・ベニコンゴウインコ
2013年 5月23日(繁殖)～ 2013年8月29日

ベニコンゴウインコの脱出・捕獲・死亡について多くの皆様にご心配・ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

動物公園 夏祭り

イベントレポート

夏休みの楽しいひとときを千葉市動物公園で過ごしていただくため、
「動物公園夏祭り」を開催!

屋台が多数出店したほか中央広場では子どもみこしが練り歩き、屋外ステージ
ではアクションショー、キッズダンスや中南米の音楽演奏、また、動物科学館1Fレクチャー
ルームでの手塚治虫のアニメ映画上映会等、様々なイベントを開催しました。(管理課長 山崎一夫)



動物公園サポーターの募集

千葉市動物公園を応援していただける個人、法人サポーターを募集しています。
寄附金は個人1口1,000円、法人1口10,000円で何口でも寄附いただけます。

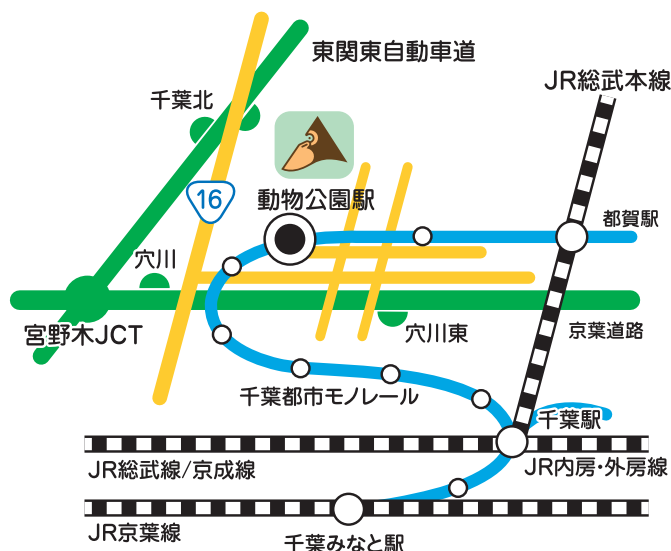
特典

- 1 当園オリジナルグッズ
 - 2 招待券プレゼント
 - 3 サポーターズデーへのご招待
 - 4 動物公園に関する情報のご提供
- 個人サポーターは、1口、3口、5口ごとに特典が異なります。

問い合わせ先 管理課 電話043-252-7566

アクセス

- 開園時間
午前9時30分から午後4時30分まで
(ただし、入園は午後4時まで)
- 休園日
毎週月曜日(月曜日が休日にあたる時は翌日)
年末年始(12月29日から1月1日)
- 入園料
大人500円、小・中学生100円
・小学生未満、千葉市在住65歳以上の方は無料
・団体は有料人数30名以上で2割引き
- 駐車場
普通車500円、大型2,100円
(閉門時間 午後5時)
- <http://www.city.chiba.jp/zoo/>



お車の場合

- ・東京方面からは 京葉道路穴川I.Cより市街方面に約3km
- ・市原方面からは 京葉道路穴川東I.Cより市街方面に2km
- ・成田方面からは 東関東自動車道路千葉北I.Cより千葉方面へ約7km

モノレールの場合

- ・千葉都市モノレール動物公園駅下車すぐ
(乗車時間)・千葉駅より約12分
・都賀駅より約5分
・千葉みなと駅より約16分

お得な年間パスポート 大人 2,500円、小・中学生 500円



ツイッターのお知らせ

飼育係の撮影した写真やリアルタイムな園内の情報などなど
千葉市動物公園公式Twitterアカウント
@Chibazoo
フォロワー現在4,900(8月末現在)



2013年8月末現在の飼育数

哺乳類	62種	540点
鳥類	72種	304点
爬虫類	7種	34点
両生類	1種	2点
魚類	1種	1点
総計	143種	881点